

令和元年度

事業報告書

令和元年度 高崎市社会福祉協議会事業報告

少子高齢化の進行、家族形態の変容、雇用形態の多様化、近隣関係の希薄化などを背景に、支援を必要とする高齢者、障害者、生活困窮者等が増加するとともに、子どもの貧困や社会的孤立といった新たな福祉課題・生活課題も顕在化するなど、福祉に対するニーズは複雑化し、増大傾向にあります。

このような社会情勢のなか、本会では、「誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるまちづくり」という理念のもと、国が進める「地域包括ケアシステム」の実現に向けて、地域住民やボランティア、他の社会福祉法人や施設、関係機関団体等と連携して生活支援体制整備事業等の推進に努めてきました。

主な取り組みとして、地区社会福祉協議会や企業・法人等に協力を呼びかけ、フードドライブ事業や制服バンクを実施し、子ども食堂やフードバンク、ホームレス支援団体など必要としている方々にお渡ししました。

また、成年後見事業では、相談件数が増加する中、適切な対応に努め、申立手続の支援、法人後見の受任等を行いました。

災害ボランティア活動では、10月に発生した台風19号により、高崎市内で床上浸水があった地域に対して、高崎市災害ボランティアセンターを設置し、困りごとの受付や被災者宅の片付け、流入した土砂等の撤去の支援にあたるボランティアの調整等を行いました。さらに同台風の影響により被災した栃木県佐野市へ職員を派遣し、被災地の災害ボランティアセンターの活動を支援しました。

深刻化する生活課題を抱え孤立している世帯に対しては、地域の高齢者あんしんセンターや民生委員児童委員などと連携しながら、公的なサービスや買物代行事業などのインフォーマルなサービスの利用につなげるなど、孤立からの脱却および課題解決に向け取り組みました。

市からの委託事業として、子育てSOS事業を受託し、妊娠期や就学前児童のいる家庭にヘルパーを派遣し、家事や育児の支援を行うことで保護者の育児に関する精神的・身体的負担の軽減を図りました。

一方、介護保険関連事業では、慢性的な人材不足や利用者の減少などから、グループホーム一路を閉所するなど、経営状況は依然として厳しい状況にありますが、業務の効率化を図るなど、改善に向けた検証を進めました。

以上により、本会の令和元年度事業は、地域の福祉ニーズが多面化している中、前年度に引き続き他の団体や市民と力を合わせ、地域福祉の一層の充実を図るとともに、法人運営の透明化及び組織の強化を推進し、経営全般の健全化に努めました。

1 理事会・評議員会等開催状況

会議名	年月日	会場	議 題
監事会	元年5月24日	福祉団体室	平成30年度社会福祉法人高崎市社会福祉協議会事業報告並びに社会福祉事業、公益事業及び収益事業決算監査
第1回 理事会	元年6月7日	会議室4	報告 第1号 会長及び常務理事の職務執行状況について 議案 第1号 平成30年度社会福祉法人高崎市社会福祉協議会事業報告及び決算 第2号 令和元年度社会福祉法人高崎市社会福祉協議会収支補正予算 第3号 社会福祉法人高崎市社会福祉協議会経理規程の一部改正について 第4号 理事及び監事候補者の選考について 第5号 評議員選任候補者の推薦について 第6号 評議員選任・解任委員会の開催について 第7号 定時評議員会の開催について
第1回 評議員選任・ 解任委員会	元年6月13日	ボランティア作業室	議案 第1号 評議員の選任について
定時評議員会	元年6月24日	会議室4	議案 第1号 平成30年度社会福祉法人高崎市社会福祉協議会事業報告及び決算 第2号 令和元年度社会福祉法人高崎市社会福祉協議会収支補正予算（第1号） 第3号 理事及び監事の選任について
第2回 理事会	元年6月24日	会議室4	議案 第8号 会長、副会長及び常務理事の選定について 第9号 評議員選任候補者の推薦について 第10号 評議員選任・解任委員会の開催について 第11号 苦情対応第三者委員の選考について
第2回 評議員会	元年6月24日	書面表決	議案 第4号 苦情対応第三者委員の承認について
第2回 評議員選任・ 解任委員会	元年7月8日	ボランティア作業室	議案 第2号 評議員の選任について
第3回 理事会	元年12月4日	会議室4	報告 第2号 会長及び常務理事の職務執行状況について 議案 第12号 令和元年度社会福祉法人高崎市社会福祉協議会収支補正予算（第2号） 第13号 評議員会の開催について 第14号 監事候補者の選考について
第3回 評議員会	元年12月12日	会議室4	議案 第5号 令和元年度社会福祉法人高崎市社会福祉協議会収支補正予算（第2号） 第6号 監事の選任について

会議名	年月日	会場	議 題
第4回 理 事 会	2年3月18日	書面表決	報告 第3号 専決処分の報告について 議案 第15号 令和元年度社会福祉法人高崎市社会福祉協議会収支補正予算(第6号) 第16号 令和2年度社会福祉法人高崎市社会福祉協議会事業計画及び収支予算 第17号 評議員選任・解任委員の選任について 第18号 苦情対応第三者委員の選考について 第19号 評議員会の開催について
第4回 評議員会	2年3月26日	書面表決	報告 第1号 専決処分の報告について 議案 第7号 令和元年度社会福祉法人高崎市社会福祉協議会収支補正予算(第6号) 第8号 令和2年度社会福祉法人高崎市社会福祉協議会事業計画及び収支予算 第9号 苦情対応第三者委員の承認について

2 社会福祉事業

(1) 会員体制(会費収入)

本会の目的に賛同する個人、団体及び施設等から納入された会費は、ふれあいサロンや地区社協への助成や法外援護等へ支出し地域福祉の向上のため、有効に活用した。

ア 一般会費

	町内数	30年度世帯数	30年度収入	元年度世帯数	元年度収入
本所	342町内	113,449世帯	12,622,120円	114,350世帯	12,466,342円
倉渕	8町内	1,273世帯	245,200円	1,271世帯	241,600円
箕郷	41町内	7,301世帯	1,211,800円	7,395世帯	1,214,000円
群馬	30町内	16,646世帯	2,349,500円	16,978世帯	2,321,400円
新町	10町内	4,848世帯	920,000円	4,893世帯	921,200円
榛名	62町内	6,972世帯	1,266,600円	6,972世帯	1,252,200円
吉井	36町内	8,804世帯	1,414,900円	8,856世帯	1,420,050円
合計	529町内	159,293世帯	20,030,120円	160,715世帯	19,836,792円

イ 特別・施設会費、団体会費

区 分	会 費 収 入	備 考
特別会費	716,400円	・保護司会 ・長寿会連合会 ・更生保護女性会 ・心身障害者等連絡協議会 ・ボランティアグループ連絡協議会 ・民生委員児童委員協議会 ・婦人会連合会 ・各民生委員児童委員
施設会費	411,000円	・保育園63園・社会福祉施設342カ所
団体会費	215,000円	・地区社会福祉協議会33地区
合 計	1,342,400円	

(2) 共同募金

共同募金推進計画に基づき、群馬県共同募金会高崎市支会を通じて本会に配分された配分金を地域福祉の充実を目的とした事業に活用した。

ア 共同募金配分金事業

地域配分金額	配分金内訳	摘 要
11,599,500円	5,670,000円	ふれあいサロン助成金
	5,206,500円	社協広報紙発行費用
	723,000円	フードドライブ事業

イ 歳末たすけあい募金配分金事業

配分金額	配分金内訳	摘 要
545,860円	243,000円	フードドライブ事業
	302,860円	生活困窮者支援団体助成

ウ 災害支援制度配分金事業

配分金額	配分金内訳	摘 要
400,000円	400,000円	災害ボランティアセンター事業

(3) 金品の寄附

寄せられた寄附金は、その意思を尊重し各種事業に活用するとともに福祉基金に積立を行った。また、寄附物品は施設や団体等に配布し有効に活用した。

ア 一般寄附（現金）

区 分	寄附金額	寄附件数
法 人 運 営	996,191円	33件
善 意 銀 行（ 基 金 ）	2,399,007円	12件
ふれあいの広場(協賛金)	260,000円	14件
児 童 館	200,000円	4件
合 計	3,855,198円	63件

イ 指定寄附（現金）

区 分	30年度末 残 高	元年度 寄附金額	元年度 寄附件数	元年度支出 金額(件数)	元年度末 残 高	備 考
障害者	154,267,044円	134,305円	2件	43,224,000円 (5件)	111,177,349円	施設改築 費用等
高齢者	1,623,296円	37,200円	2件	0円	1,660,496円	
児 童	269,857円	0円	0件	0円	269,857円	
その他	5,000,000円	0円	0件	2,364,000円	2,636,000円	福祉バス 運行費用
合 計	161,160,197円	171,505円	4件	45,588,000円 (5件)	115,743,702円	

ウ 物品

物 品	数 量	備 考
車椅子	1台	
タオル	3,341枚	
招待券	100枚	「きかんしゃトーマスとなかまたち」招待チケット
その他	—	業務用掃除機、日用雑貨品、手作り品 他
ふれあいの広場(協賛品)	—	ティッシュ、菓子

(4) 地区社会福祉協議会活動の推進

地区社会福祉協議会は、地域住民が自分たちの生活する地域の福祉課題やニーズを主体的に捉え問題解決に向け自発的に取組む組織で、区長、民生委員児童委員、ボランティア等が中心になってさまざまな活動を通じて、市内33全地区で地域福祉づくりを進めている。

主な活動実績

活動区分	主な内容	実施地区数
研修会、視察等	施設等見学、サロン交流研修会、サロン情報交換会 地区内小中学校情報交換会	25地区
芸能祭等	高齢者ふれあい交流会、芸能祭、スポーツ大会、 作品展示会	22地区
見守り活動	友愛訪問、一声かけ運動、ひとり暮らし高齢者配食、 防犯パトロール、子育て家庭訪問	24地区
世代間交流	小学生へ「昔の遊び」を伝授、こどもフェスティバル、 ひとり暮らし高齢者へ花プレゼント、もちつき大会	13地区
その他の活動	福祉バザー、廃食油回収・石鹸づくり、 地区社協だより、防災訓練	10地区

(5) 高齢者や子育てサロン活動への支援

高齢者のふれあい・いきいきサロンや、ふれあい・子育てサロンを新規で立ち上げるための相談や情報の提供、サロン交流会の開催、活動メニューに対する相談支援、活動費に対する助成などの支援を行った。

ア ふれあい・いきいきサロン活動費の助成

	サロン数	助成金	摘要
30年度	353ヵ所	14,742,000円	42,000円×347ヵ所、38,500円×2ヵ所 31,500円×2ヵ所、14,000円×2ヵ所
元年度	360ヵ所	15,004,500円	42,000円×356ヵ所、21,000円×1ヵ所 14,000円×1ヵ所、10,500円×1ヵ所 7,000円×1ヵ所

イ ふれあい・子育てサロン活動費の助成

	サロン数	助成金	摘要
30年度	36カ所	1,501,500円	42,000円×35カ所、31,500円×1カ所
元年度	32カ所	1,344,000円	42,000円×32カ所

ウ 高崎市ふれあい・いきいきサロン推進連絡会の開催

地区社協から推薦された各地区のサロン代表者が一堂に会し、意見交換や情報共有を図ることを目的に開催した。

日 時 令和元年8月27日(火)

参加者 26人

エ 高崎市ふれあい・いきいきサロン研修会の開催（中止）

サロン活動の充実を図ることを目的として研修会（令和2年3月27日）を計画し、各サロン代表者に通知をしたが、新型コロナウイルス感染予防のため中止となった。

(6) 「社協たかさき」の発行

地域住民に広く当協議会事業の周知及び社会福祉に対する啓発を行い、本会と地域住民が連携を密にして社会福祉の向上を図ることを目的に広報を発行した。

ア 発行状況

項 目	回数	発行日及び部数
発 行 回 数	5回	9月 1日号 (第80号) 161,900部
		10月 1日号 (第81号) 162,000部
		12月 1日号 (第82号) 162,200部
		2月 1日号 (第83号) 162,200部
		4月15日号 (第84号) 162,200部

イ 編集委員会の開催 1回

(7) 福祉バスの運行

地区社会福祉協議会や民生委員児童委員協議会等の登録団体が研修会等でバスを使用し、社会福祉の増進に寄与することを目的に本所、箕郷支所、群馬支所で福祉バスを運行した。

ア 団体利用状況

区 分		市社協	地区社協	民児協	福祉団体	ボランティア 団体	合 計
本所	回数	4回	71回	1回	1回	13回	90回
	人員	131人	2,230人	31人	37人	384人	2,813人
箕郷	回数	1回	49回	0回	1回	5回	56回
	人員	19人	986人	0人	17人	89人	1,111人
群馬	回数	1回	54回	3回	1回	9回	68回
	人員	18人	1,005人	79人	20人	141人	1,263人

イ 月別利用状況

(単位:回)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
本所	14	15	5	6	4	12	14	18	2	0	0	0	90
箕郷	13	11	6	4	3	3	14	2	0	0	0	0	56
群馬	9	8	5	1	1	3	15	22	1	1	1	1	68
合計	36	34	16	11	8	18	43	42	3	1	1	1	214

(8) 地域福祉活動

ア 地域の会議への参加

高齢者あんしんセンターが主催する地域の会議や、高崎市が推進する地域包括ケアシステムの生活支援体制整備事業の会議に地区担当職員が参加し、住民や関係機関等が行うニーズ把握や支えあいの仕組みづくりに協力した。

参加状況

	本所	倉渕	箕郷	群馬	新町	榛名	吉井	計
30年度	179回	10回	7回	29回	18回	12回	12回	267回
元年度	185回	11回	8回	22回	17回	8回	17回	268回

(9) 法外援護

無銭旅行者援護費の貸与や、罹災した世帯へ水害や火災の見舞金として支給を行った。

法外援護支給状況

区分	地域	支給件数	返済件数
無銭旅行者 援護費	本所	24件	1件
	新町	0件	0件
	吉井	0件	0件
	計	24件	1件
罹災援護	全域	91件	—

(10) 子育て支援事業(箕郷)

0歳から3歳の未就園児をもつ親子を対象として、毎月第1・3火曜日に親子ふれあいサークルを行った。子育ての経験を持つボランティアが相談を受けたり、保護者同士の情報交換の場にもなったりしている。また、子育てに役立つ講座も開催した。

ア 親子ふれあいサークル

- ・開催回数 23回
- ・参加延人数 307組(632人)
- ・ボランティア延人数 126人
- ・内容 季節の簡単工作、ベビービクス&キッズビクス、写真撮影会、おもちゃ遊び、身長・体重計測 他

イ 子育てお役立講座

第1回目

- ・日 時 10月24日(木)
- ・内 容 「ママへの思いやりストレッチ」
- ・参加人数 7組16人

第2回目

- ・日 時 10月31日(木)
- ・内 容 「今日からできる楽しい子育て」
- ・参加人数 10組21人

(11) 受託事業

○手話通訳者派遣事業

ろう者とその他の人が社会生活上の意思疎通を図るため、意思伝達の手段として手話通訳者を派遣した。

ア 登録手話通訳者 52人

イ 設置手話通訳者 4人(高崎市役所1人、高崎市社協3人)

ウ 申請件数 1,013件

内訳

(単位:件)

	医療健康	権利保持	職業労働	教育保育	生活	福祉	団体活動	会議	大会行事	運転免許	資格取得	冠婚葬祭	その他	合計
30年度	820	17	36	69	50	73	8	25	25	16	3	7	2	1,151
元年度	716	14	20	43	60	68	7	29	20	16	2	17	1	1,013

エ 手話通訳者派遣人数 1,005人

内訳

	登録手話通訳者	他機関手話通訳者	設置(市役所)手話通訳者	設置(市社協)手話通訳者	合計
30年度	770人	14人	59人	301人	1,144人
元年度	723人	9人	28人	245人	1,005人

オ 設置(市社協)手話通訳者対応件数

内訳

	相談	電話通訳	連絡・打合せ	コーディネート	合計
30年度	609件	156件	466件	2,363件	3,594人
元年度	705件	229件	570件	2,082件	3,586人

カ 高崎市手話通訳事業等運営委員会開催 4回

キ 登録手話通訳者現任研修 5回

ク 頸肩腕障害特殊健診受診 6人

(設置手話通訳者及び登録手話通訳者の内、群馬県に登録のない手話通訳者を対象)

○第42回たかさき市民福祉大会の開催(高崎市と共催)

市民が共に支え合い、住み慣れた地域で安心して暮らせる福祉のまちづくりを推進することを目的として、ボランティア顕彰、社会福祉事業功労者表彰・感謝、講演を実施した。

- ア 実施日 令和2年2月15日(土)
- イ 実施場所 高崎市文化会館
- ウ 内 容 第1部 【式典】ボランティア顕彰
高崎市社会福祉協議会会長表彰・感謝
第2部 【琉球太鼓演舞】藤岡琉球太鼓
【講演】演題 生きにくい人を包み込む社会に
講師 野澤 和弘 氏
(植草学園大学客員教授、前毎日新聞論説委員)
- エ 受賞者数 ボランティア顕彰 個人8人、団体2団体
社会福祉事業功労者表彰 個人1人、団体6団体
感謝 団体9団体
- オ 参加者 一般市民、民生委員児童委員、地区社協関係者、ボランティア、婦人会、各種団体 等
- カ 参加者数 650人

○吉井東学童クラブの経営(吉井)

保護者が仕事等により昼間留守になる家庭の児童を対象として、遊びや生活の場を提供し、放課後児童の健全育成を行った。

利用状況

	開所日数	在籍数	年間利用延人数
30年度	285日	24人	4,442人
元年度	285日	25人	4,458人

(12) 福祉ボランティアの町づくり事業

市民がともに手を取り合い心のふれあうまちづくりを推進するため、ボランティアセンターを運営し、各種ボランティア講座の開催や啓発行事の実施、情報提供、ボランティアコーディネートを行いボランティア活動の活性化を図った。

ア 主催行事等

期 日	行 事 名	内 容	会 場	参加者
8月1日～2日	サマーボランティア体験講座	高齢者や障害者の特徴について学び、施設でのボランティア活動を体験した。	群馬福祉会館他、群馬地域内福祉施設	23人
10月26日	第33回高崎ふれあいの広場	地区社会福祉協議会、ボランティアグループ、福祉団体、各種団体、行政等が一堂に会し、心ふれあう町づくりを推進するため広場を開催した。	もてなし広場	10,000人

期 日	講 座 名	内 容	会 場	参加者
11月29日 12月 6日 12月13日	シニア傾聴ボランティア養成講座	傾聴ボランティア活動における、認知症高齢者やうつ傾向のある高齢者への傾聴について必要な知識・技術を学ぶため開催した。	群馬福祉会館	39人
2月 25日	スクールサポーター養成講座	人とのつながりの大切さを子ども達に伝え、適切で安全な福祉体験学習実施を支援できるスクールサポーターを養成した。	市総合福祉センター	4人

イ ボランティア相談・コーディネート

・ボランティア相談受付数

ボランティアセンターに寄せられた相談に対応し、助言や情報提供を行った。

また、ボランティアを必要とする団体や施設からのニーズを受け、ホームページへの掲載やコーディネートを行った。

	30年度	元年度
相談件数	162件	159件
ニーズ受付数	178件	129件

ウ ボランティアグループ登録状況

市内で活動するボランティアグループの登録を受け、活動状況を把握した。

	30年度	元年度
グループ数	163団体	147団体
人 数	7,689人	6,728人

エ ボランティアグループ活動補助金の交付

社会福祉活動の増進を目的として市内で活動するボランティアグループに対して、活動費やボランティア活動保険料の一部を補助した。

	補助団体数	金額
30年度	56団体	1,591,540円
元年度	63団体	1,489,600円

オ 車いす等対応車両貸出サービス事業

高齢者や障害者の通院、通所、買物などの日常生活や、家族旅行や冠婚葬祭などの外出を支援するため、車いす等対応車両の貸出サービスを実施した。

貸出件数

	本所	箕郷	群馬	新町	榛名	吉井	合計
30年度	140件	137件	121件	46件	47件	47件	538件
元年度	91件	97件	70件	52件	43件	58件	411件

カ 福祉用具貸出事業(車いすの貸出)

一時的に車いすが必要な方に対して、車いすの貸し出しを行った。

車いす貸出申請件数(団体貸与含む)

	本所	倉渕	箕郷	群馬	新町	榛名	吉井	合計
30年度	211件	2件	60件	64件	27件	56件	34件	454件
元年度	247件	2件	28件	47件	10件	46件	28件	408件

キ 福祉教育の推進

福祉教育を推進する中で、幼少期や児童期に福祉への理解と関心を高めることが期待されている。また、企業においては高齢社会を迎え、高齢者や障害のあるお客様が増加していることから、スタッフへの福祉教育が求められている。依頼のあった学校や企業に、福祉用具の貸し出しや職員が出向いての指導を行なった。

(単位:回)

地域	貸出講師派遣数	内 容
本所	小学校 15	車いす貸出、高齢者疑似体験用具貸出、簡易点字器貸出、アイマスク貸出 車いす体験・介助指導、高齢者疑似体験指導 ブラインドウォーク・ガイドヘルプ指導、福祉講話 ※スクールサポーター派遣(20回)
	中学校 3	
	高等学校 3	
倉渕	小学校 1	車いす体験学習、高齢者疑似体験指導
	中学校 1	
箕郷	小学校 2	高齢者疑似体験、地区社協行事参加、やるベンチャー受入(5日間)
	中学校 2	
群馬	小学校 7	車いす貸出、高齢者疑似体験用具貸出、アイマスク貸出、車いす体験学習、高齢者疑似体験指導、ブラインドウォーク体験指導
	中学校 2	
	企業・団体等 4	
新町	小学校 4	車いす貸出、高齢者疑似体験用具貸出 高齢者疑似体験指導、施設見学(長寿センター)受入、高齢者との交流
	大学 2	
榛名	小学校 2	高齢者疑似体験用具貸出、車いす体験学習、高齢者疑似体験 ※スクールサポーター派遣(1回)
吉井	小学校 9	車いす貸出、高齢者疑似体験用具貸出、簡易点字器貸出、アイマスク貸出、講師紹介

ク 買物困難者等への支援

○高齢者等買物代行事業

日常的な買物に困難を抱えている高齢者等を対象に、登録ボランティアによる日常生活用品の買物を代行する高齢者等買物代行事業を実施した。広報等で広く市民に事業周知を行うと共に、長寿会や婦人会のボランティア協力を得て、円滑な利用促進に努めた。

また、利用者それぞれの状況に合わせてボランティアとのマッチングを行い、週に1回から月に1回の頻度で買物代行を実施した。

利用者と定期的に顔を合わせるボランティアならではの気づきが安否確認をはじめ、その他の生活課題の把握へつながり、その後も行政や高齢者あんしんセンター等と協力、連携しながら関わりを持った。

実施状況

項目	30年度	元年度
登録ボランティア数	211人(男性47人、女性164人)	203人(男性46人、女性157人)
利用者登録数	102人	115人
延べボランティア稼働数	734人	677人
延べ利用者数	812人	806人
延べ代行稼働件数	2,882件	2,743件

○倉渕地域高齢者買い物支援事業

倉渕地域内の買い物等弱者対策のため、公共交通空白地有償運送の制度により自宅から倉渕地域内の商店や金融機関、医療機関等まで、有償運転ボランティアが送迎するサービスを行った。

・運行日時及び運行地域 毎週月～金曜日 9:30～17:00(倉渕全域)

実施状況

項目	30年度	元年度
運転ボランティア	7人	7人
利用登録者数	57人	61人
運行回数	250回	240回
延べ利用者数	325人	314人

ケ 傾聴ボランティア派遣事業

日頃から人と接する機会の少ない高齢者に対し、話し相手をしながら時間を共有することで、より充実した日常生活を過ごせるよう支援するため、傾聴ボランティアを派遣した。

実施状況

	地域	本所	倉渕	箕郷	群馬	新町	榛名	吉井	合計
30年度	利用者実数	24人	1人	2人	2人	0人	2人	0人	31人
	訪問回数	362回	6回	22回	12回	0回	11回	0回	413回
元年度	利用者実数	25人	0人	1人	1人	0人	1人	0人	28人
	訪問回数	296回	0回	13回	23回	0回	11回	0回	343回

※傾聴ボランティア登録者数 73人

コ 各種保険の加入促進

ボランティア活動中のさまざまな事故による怪我や損害賠償責任を補償するボランティア活動保険や行事用保険等への加入を促進するとともに、事故対応等の事務手続きを行った。

	ボランティア活動保険	行事用保険	福祉サービス総合補償	送迎サービス	サロン保険	事故取扱
30年度	8,529人	152件	9件	3件	418件	17件
元年度	8,338人	201件	13件	3件	473件	23件

サ 収集物の受け入れ

学校や企業、団体等から寄せられたエコキャップ等の収集物を受入れ、有効に活用した。

品目	数量等	活用内容
エコキャップ	340 kg	エコキャップ推進協会を通じて換金され、海外の医療支援・ワクチン支援や障害者支援、環境教育等、様々な社会貢献活動に充当
使用済み切手	段ボール箱3箱	県内の障害福祉施設に送り、利用者の余暇活動の制作材料として活用
アルミ缶プルタブ	3,960円	プルタブを換金し、当協議会の車いす貸出事業用の車いすの購入費用として積立てた

シ 高崎市災害ボランティアセンターの設置

台風第19号による浸水等の被害の復旧のためボランティアセンターを設置し、支援を行った。

- ・期 間 令和元年10月15日（火）～10月31日（木）
- ・場 所 高崎市社会福祉協議会吉井支所
- ・依頼件数 12件
- ・ボランティア数 60人

ス 被災地災害ボランティアセンターへの支援

令和元年10月台風第19号等災害支援として、職員1人を派遣し、支援活動を行った。

- ・期 間 令和元年11月28日（木）～12月2日（月）
- ・支援先 栃木県佐野市災害ボランティアセンター

(13) 生活福祉資金貸付事業

関係機関と協力し、援助が必要な低所得者世帯等に資金の貸付や相談支援を行った。また、生活困窮者自立相談支援事業における支援調整会議に出席し、市との連携を図った。なお、市において、生活保護申請者で緊急的に一時的な生活費を必要とする方に貸付を行う、つなぎ資金貸付事業では、市に原資を預け運用をしてもらった。

- ア 年間延べ相談件数 316件(昨年度569件)
- イ 償還戸別訪問件数 235件
- ウ 支援調整会議出席回数 1回

エ 生活福祉資金貸付及び償還業務

	貸 付		償 還		償還完了
	件数	金 額	件数	金 額	
30年度	22件	7,312,000円	1,077件	25,811,608円	25件
元年度	15件	3,373,000円	1,081件	11,609,871円	24件

- オ つなぎ資金貸付件数 7件(貸付金額 19,000円)

(14) 結婚相談事業

結婚を希望する方へ、結婚相談室の実施により、出会いの機会を提供した。なお、当事業は民間事業者等が行う事業の充実に伴い令和元年8月29日(木)をもって終了した。

ア 相談日 毎週水曜、木曜日及び第1、第2、第3土曜日

イ 場所 市総合福祉センター3階結婚相談室

ウ 相談員 3人

エ 結婚相談室の実施状況

	実施日	相談件数(一日当り)	見合い件数	成婚報告数
30年度	132日	1,002件 (7件)	143件	2組
元年度	56日	361件 (6件)	57件	0組

(15) 日常生活自立支援事業

高崎市に在住する認知症高齢者や知的障害者、精神障害者など判断能力の不十分な人を対象に、契約に基づき日常的な金銭管理の援助や通帳・印鑑の預かり等を適切に行った。

ア 相談件数

	30年度	元年度
認知症高齢者	2,157件	2,475件
精神障害者	1,831件	2,050件
知的障害者	527件	501件
その他	7件	7件
合計	4,522件	5,033件

イ 契約状況及び課税状況の内訳

	年度別契約締結件数		実利用者件数(3月末現在)	
	30年度	元年度	30年度	元年度
認知症高齢者	14件	20件	71件	69件
精神障害者	1件	9件	26件	29件
知的障害者	2件	5件	22件	22件
合計	17件	34件	119件	120件
課税世帯	0世帯	5件	10世帯	13件
非課税世帯	11世帯	12件	45世帯	45件
生活保護世帯	6世帯	17件	64世帯	62件
合計	17世帯	34件	119世帯	120件

ウ 生活支援員登録者数 36人(任期:平成31年4月1日～令和3年3月31日)

エ 生活支援員雇用者数 36人

(16) 福祉人材バンク事業

福祉関係の求人の受付、就職の斡旋のほか福祉の仕事に関する広報啓発活動、就職ガイダンス、福祉のお仕事相談会等の福祉人材開発事業を実施した。

また、マッチング機能強化事業による個々の求職者にふさわしいマッチング支援や職場開拓を行った。

ア 相談件数 求人相談 1,423 件
求職相談 1,237 件

イ 取扱状況

求人数	求人件数	求職者数	紹介数	採用者数	窓口利用者数
3,825人	1,954件	489人	112件	87人	545人

ウ 福祉人材確保等に関する事業の実施

・福祉のお仕事相談会の開催

期 日	会 場	参加法人	参加者数
令和元年6月18日（火）	高崎市市民活動センター「ソシアス」	20法人	15人
9月27日（金）	高崎市労使会館	19 法人	13 人
10月25日（金）	高崎市労使会館	20法人	32人
令和2年 1月31日（金）	高崎市労使会館	31法人	41人

・就職ガイダンスの開催

期 日	会 場	内 容	参加者数
令和元年7月22日（月）	高崎市労使会館	福祉現場が求める人材とは	26人
12月18日（水）	高崎市労使会館	福祉現場が求める人材とは	18 人

エ 施設見学会の開催

期 日	会 場	参加者数
令和元年 5月30日（木）	社会福祉法人正覚会特別養護老人ホームことりの郷 特定医療法人博仁会介護老人保健施設ことりの園	21人 21人
8月30日（金）	社会福祉法人慶康会特別養護老人ホームキートス山名 ユミテック株式会社介護付き有料老人ホームキートス八千代	5 人 6 人
10月30日（水）	社会福祉法人希望館児童養護施設希望館 特別養護老人ホーム希望館	3人 14人
12月 4日（水）	社会福祉法人伸和会・特別養護老人ホームつどい	4人

オ 出張相談会の実施

会 場	相 談 日	相談件数
ハローワーク安中	毎月第3火曜日	10件
ハローワーク富岡	毎月第4水曜日	6 件
ハローワーク藤岡	毎月第4火曜日	8件

(17) 介護保険居宅介護支援事業・介護予防支援事業

ア 居宅要介護者・居宅要支援者の依頼を受け、心身の状況、環境、本人や家族の希望等を踏まえ、居宅サービス計画・介護予防サービス計画を作成し、介護保険サービスを適切に利用できるよう関係機関との連絡調整を行った。また、市内居住者の調査委託対象者の要介護認定調査を行った。

事業所別実施状況(延人数)

(単位:人)

		中央居宅介護支援センター		吉井居宅介護支援センター	北部居宅介護支援センター		倉渕居宅介護支援センター
		30年度	元年度	30年度	30年度	元年度	30年度
居宅介護支援		2,041	1,891	670	1,347	1,899	825
受託	介護予防プラン	254	331	109	329	333	101
	介護予防ケアマネジメント	366	221	96	191	409	336
	要介護認定訪問調査	58	72	24	15	5	8

※令和元年度より、中央居宅介護支援センターに吉井居宅介護支援センターを、北部居宅介護支援センターに倉渕居宅介護支援センターを統合

イ 指定介護予防支援業務・第1号介護予防支援業務として、あんしんセンターたかさき社協が要支援者及び介護予防・生活支援サービス事業対象者の、介護予防と自立支援の視点を踏まえ、適切にサービスを利用できるように、介護予防サービス・支援計画を作成した。

プラン等作成状況

サービス種類	項目	区分	30年度	元年度
介護予防支援	予防プラン作成数	直営	172件	96件
		委託	1,473件	1,430件
介護予防ケアマネジメント	総合事業プラン等作成数	直営	221件	183件
		委託	1,469件	1,533件

(18) 介護保険等訪問介護事業

ア 介護保険サービス

ホームヘルパーが利用者宅を訪問し、身体介護や生活援助等を行った。

事業所別実施状況(延人数)

	中央訪問介護センター(本所)		北部訪問介護センター(榛名)	
	30年度	元年度	30年度	元年度
訪問介護 ※1	1,214人	1,022人	614人	629人
介護予防訪問介護相当※2	853人	706人	437人	411人

※1 対象者は要介護認定者

※2 対象者は要支援認定者及び総合事業対象者

イ 介護保険外サービス（子育てSOSサービス事業）

平成31年4月1日より新規事業として、高崎市から、産後ママヘルプサービスに代わり、「高崎市子育てSOSサービス事業」を受託。妊娠期から就学前児童の保護者の精神的・身体的負担の軽減のため、要請に基づいてヘルパーを派遣し、育児・家事等の必要なサービスを行った。

利用状況 313世帯 延利用人数 2,498人

ウ その他サービス

道路運送法の規定に基づき、事業所所有の車両で目的地まで有償で送迎した。

事業所別実施状況(延人数)

	中央訪問介護センター(本所)		北部訪問介護センター(榛名)	
	30年度	元年度	30年度	元年度
福祉有償運送 ※	140人	114人	168人	154人

※対象者は、総合事業対象者、要支援認定者及び要介護認定者

(19) 介護保険等通所介護事業

利用者に食事や入浴等の介護サービスや機能訓練を行った。

事業所別実施状況(延人数)

(単位:人)

	倉渕デイサービスセンター		群馬デイサービスセンター		吉井デイサービスセンター	
	30年度	元年度	30年度	元年度	30年度	元年度
通所介護	356	352	202	181	396	314
介護予防通所介護 ※	237	197	176	144	127	131

※介護予防・日常生活支援総合事業の予防通所介護相当サービスが含まれる。対象者は要支援認定者及び総合事業対象者(要介護認定なしで高崎市指定のアセスメントシート2015により審査認定された方)

(20) 認知症対応型共同生活介護事業(グループホーム一階)

認知症の状態にある要介護者等が住みなれた地域社会の中で、自立とふれあいを大切に家庭的な環境のもと、共同生活が継続して営めるよう支援した。なお、利用者減少等に伴い令和元年8月で事業終了した。

- ア 入居定員 9人(1ユニット全個室)
- イ 平均年齢 84.2歳
- ウ 平均入居期間 4.2年
- エ 利用者の要介護度 2～3

年間利用状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
30年度	入居者数	8人	9人	9人	9人	9人	9人	9人	8人	8人	8人	8人	7人
	平均介護度※	2.4	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.4	2.5	2.5	2.5	2.8	2.4
元年度	入居者数	7人	6人	6人	2人	1人	—	—	—	—	—	—	—
	平均介護度※	2.5	2.5	2.6	2.5	3.0	—	—	—	—	—	—	—

(21) 障害者総合支援訪問介護事業

ア 障害福祉サービス

日常生活に支障のある障害者(児)の家庭に、ホームヘルパーを派遣し、自分で出来る事はしてもらい、出来ない事を支援することにより、障害の状況や家族の状況等に応じて在宅での生活を援助した。

事業所別実施状況(延人数)

	中央訪問介護センター(本所)		北部訪問介護センター(榛名)	
	30年度	元年度	30年度	元年度
居宅介護 ※1	549人	497人	166人	169人
同行援護 ※2	86人	79人	-	-

※1 対象者は、身体・精神・知的障害者(児童含む)であり、高崎市より支給決定されたサービス支給量の範囲内で契約し、身体介護・家事援助・通院介助サービス等を行った。

※2 対象者は、視覚障害者であり、高崎市より支給決定されたサービス支給量の範囲内で契約し、一緒に買い物や散歩等を提供

イ 移動支援事業

指定障害福祉サービス事業所として、高崎市から受託し、市内に居住している障害者及び障害児を対象に高崎市移動支援事業実施要綱に基づいて、外出支援を行った。

事業所別実施状況(延人数)

	中央訪問介護センター(本所)		北部訪問介護センター(榛名)	
	30年度	元年度	30年度	元年度
移動支援(受託)※	43人	49人	0人	0人

※利用者は、主に精神障害者や知的障害者

ウ その他サービス(延人数)

	中央訪問介護センター(本所)		北部訪問介護センター(榛名)	
	30年度	元年度	30年度	元年度
福祉有償運送 ※	76人	75人	0人	0人

※利用者は、障害福祉サービスの受給者

(22) 障害者総合支援生活介護事業(基準該当生活介護)

障害者総合支援法に基づき、地域において生活介護を受けることが困難な障害者に対し、基準該当生活介護(デイサービス)として、利用者がその有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう必要な日常生活上の支援及び介護並びに機能訓練等を行った。

群馬デイサービスセンター 利用者 2人

(23) 児童発達支援・放課後等デイサービス(はばたき)

利用児童が日常生活における基本的動作を習得し、集団生活に適応することができるよう、身体及び精神の状況並びにその置かれている環境に応じて適切かつ効果的な指導及び訓練を行った。

「はばたき」利用状況

	開所日数	在籍数	年間延利用人数
30年度	292日	21人	2,242人
元年度	290日	23人	2,206人

(24) 高崎市社会就労センターセルフ楽間

○就労継続支援B型

一般企業に就労及び適応することが困難な障害を有する方に対し、福祉的就労の場や生産活動の機会を提供し、個別支援計画に沿った就労継続支援B型サービスを通じて利用者の自立支援に努めた。

ア 利用定員 20人(在籍数:17人)

イ 開所日数 242日

ウ 延べ利用人数 4,011人

エ 就労支援事業内容 (2グループ体制で実施)

- ・組立作業(ダンボールパッド、大和屋製品等)
- ・検品作業(ポーチ、ケース、カー用品、アウトドア用品等)
- ・パッケージング作業(ホチキス針、ネジ、アウトドア用品、建材等)
- ・清掃、除草作業(公園、公共施設の除草、公立高校体育館清掃)
- ・分解作業(高崎市水道局より水道メーターの分解)
- ・売店作業(高崎市片岡及び六郷長寿センター内売店)

オ 就労支援事業状況

上記生産活動等により、7,218,876円の売上高を得て、必要経費を控除した6,621,243円を利用者に工賃として支給した。

カ 利用者家族と連携を図るため、家族連絡会を1回開催した。

(例年は2回開催の所、1回は新型コロナウイルス対策のため中止)

キ 利用者の慰労や相互の親睦を図るため、納会を開催した。

ク 利用者の健康管理及び防災体制の強化のため、利用者健康診断を1回、防災訓練を2回実施した。

(25) 吉井障害者自立支援センター(こはぎ)

○就労継続支援B型

一般企業に就労及び適応することが困難な障害を有する方に対し、福祉的就労の場や生産活動の機会を提供し、個別支援計画に沿った就労継続支援B型サービスを通じて利用者の自立支援に努めた。

ア 利用定員 20人(在籍数:17人)

イ 開所日数 241日

ウ 延べ利用人数 3,702人

エ 就労支援事業内容

- ・製造、販売作業(花卉の生産販売、花壇管理)
- ・組立作業(自動車部品等)
- ・清掃作業(吉井福祉センター)
- ・売店作業(高崎市片岡及び六郷長寿センター内売店)

オ 就労支援事業状況

上記生産活動等により9,086,872円の売上高を得て、必要経費を控除した5,552,204円を利用者に工賃として支給した。

カ 利用者家族と連携を図るため、「保護者会」を3回開催した。

キ 利用者の慰労や相互の親睦を図るため、施設外研修、誕生会、その他の季節行事を開催した。また、地域との交流を図るため「福祉センター・こはぎ祭」を開催した。

ク 利用者の健康管理及び防災体制の強化のため、利用者健康診断を1回、防災訓練を2回実施した。

○生活介護

常時介護や援助を必要とする障害を有する方に対し、入浴・排泄及び食事時等の介護、創作又は生産活動の機会の提供及びその他必要な支援や訓練を実施し、個別支援計画に沿った生活介護サービスの提供を通じて、利用者の自立支援に努めた。

ア 利用定員 10人(在籍数:12人)

イ 開所日数 241日

ウ 延べ利用人数 2,298人

エ 生活介護事業内容

- ・食事、排泄時等の個々に必要な介護
- ・入浴(月・木)、音楽活動(金)、レクリエーション、歩行訓練・外気浴 等
- ・日常生活・身体機能等の維持向上訓練
- ・生産活動(組立作業等)、創作活動(マット編み等)

オ 利用者家族と連携を図るため、「保護者会」を3回開催した。

カ 利用者の教養・娯楽活動の一環として、個別外出、誕生会、その他の季節行事を開催した。また、地域との交流を図るため「福祉センター・こはぎ祭」を開催した。

キ 利用者の健康管理及び防災体制の強化のため、利用者健康診断を1回、防災訓練を2回実施した。

(26) 地域活動支援センター(さくらそう・こぼと)

利用者が生活訓練や作業を通じて社会生活に対応できるよう援助した。

ア 開所日数及び利用者在籍状況

施設名	定員	在籍者数	開所日数	年間利用人数
箕郷福祉作業所	20人	15人	237日	3,243人
群馬福祉作業所	10人	7人	239日	1,345人

イ 作業内容

○箕郷福祉作業所(さくらそう)

- ・就労支援 ホチキス針箱詰、布団生地分別リサイクル作業、福祉会館清掃、内職作業、オリジナル製品製作、長寿センター売店業務
- ・自立支援 生活訓練、所外訓練(年1回)、当番活動、みんなの会(年12回)
- ・情操支援 体操指導(年12回)、音楽指導(月1~2回)、季節行事(花見会、春季研修、こいのぼりの会、七夕、レクリエーション大会、クリスマス会、初詣、豆まき、ひな祭り)
- ・その他 保護者会(年2回)、運営委員会兼保護者会(年2回)

○群馬福祉作業所(こばと)

- ・就 労 支 援 ホチキス針箱詰・袋詰、オリジナル製品製作、長寿センター売店業務
- ・自 立 支 援 料理教室、野外研修、戸外研修
- ・情 操 支 援 茶道教室、太鼓教室、読み聞かせ
納涼祭、花見、クリスマス会、節分会、ひなまつり
- ・そ の 他 保護者会(年3回)

(27) 児童館事業

児童が健全で安全な遊びを通じて、心身の発達を図り豊かな情操を育むことを目的に運営する。年齢が異なる児童が交流する中、多様な遊びや活動に参加できるよう工夫し、地域での子育ての拠点として活用されている。

利用状況

施設名	年度	開催日数 (日)	児童 (人)	保護者 (人)	合計 (人)	主な事業内容
倉賀野児童館	30年度	292	10,556	7,754	18,310	卓球、将棋、 お茶会、料 理、親子遊 び、移動児童 館、子育て講 座、児童館ま つり等
	元年度	290	8,981	6,580	15,561	
豊岡児童館	30年度	292	11,637	7,390	19,027	
	元年度	290	7,440	4,655	12,095	
井野児童館	30年度	292	13,435	9,869	23,304	
	元年度	290	11,827	9,220	21,047	
群馬児童館	30年度	292	13,656	9,594	23,250	
	元年度	290	12,107	8,879	20,986	

(28) 長寿センター事業

60歳以上の市民の健康づくりを推進するとともに、各教養教室開催等により福祉の増進を図った。

利用状況

施設名	年度	開館日数	利用人数	実施事業
群馬長寿センター	30年度	289日	56,285人	各種教養教室 介護予防体操 介護予防教室等
	元年度	290日	52,052人	
新町長寿センター	30年度	241日	16,248人	
	元年度	239日	14,408人	
新町鉄南長寿センター	30年度	242日	11,247人	
	元年度	240日	11,016人	

(29) 各団体事務局の運営及び支援

- ア 群馬県共同募金会高崎市支会事務局の運営
- イ 高崎市民生委員児童委員協議会事務局の運営
- ウ 倉渕、箕郷、群馬4地区、新町、榛名及び吉井地区民生委員児童委員協議会事務局の運営
- エ 倉渕、箕郷、群馬、新町、榛名及び吉井地区社会福祉協議会事務局の運営
- オ 高崎市ボランティアグループ連絡協議会事務局の運営
- カ 高崎地区更生保護女性会事務局の運営

- キ 高崎地区更生保護女性会支部への支援(箕郷、群馬)
- ク 高崎市ふれあい・いきいきサロン推進連絡会事務局の運営
- ケ 倉渕地区長寿会連合会への支援
- コ 箕郷地区長寿会連合会、箕郷町身体障害者団体、箕郷町心身障害児者父母の会及び箕郷地区の各ボランティア団体への支援
- サ 高崎市身体障害者団体連合会群馬支部、高崎市手をつなぐ育成会群馬支部及び群馬地区ボランティアグループ連絡協議会への支援
- シ 新町地区長寿会連合会、新町母子寡婦会への支援
- ス 榛名地区長寿会連合会、榛名地区身体障害者団体、榛名地区ボランティアグループ連絡協議会及び榛名療育父母の会への支援
- セ 吉井地区長寿会連合会、吉井町ボランティアの会、吉井町身体障害者連合会及び吉井心身障害児(者)父母の会への支援

(30) フードドライブ事業

群馬県共同募金会特別配分のうち「企画型申請のモデル配分」で723,000円の配分を受け、「もったいないをありがとうへ」をスローガンに地区社会福祉協議会や企業・法人等に呼びかけ、家庭で余っている食品を募り、食料の確保が困難な団体や、生活困窮者支援を行う子ども食堂や生活困窮者支援を行う団体に寄附を行った。

ア 第33回たかさきふれあいの広場での実施

- ・日 時 令和元年10月26日(土)
- ・場 所 もてなし広場
- ・内 容 ブースを設けて食品を受け入れるとともに事業の周知を図った。
- ・寄 附 数 1,059点

イ 歳末時期での実施

- ・期 間 令和元年12月16日(月)～12月24日(火)
- ・協力団体 社会福祉法人3法人、学校法人1校、企業4社
- ・寄 附 数 380点

ウ その他(社協窓口受付)

- ・上記以外での寄附数 993点 (22件)

(31) 制服バンク事業

「もったいないをありがとうへ」をスローガンに、家庭で余っている市内公立中学校の制服を募り、制服を必要とする方に提供をした。

ア 第33回たかさきふれあいの広場での実施

- ・日 時 令和元年10月26日(土)
- ・場 所 もてなし広場
- ・内 容 ブースを設けて制服を受け入れるとともに事業の周知を図った。
- ・寄附数 105点

(32) 社会福祉関係実習生の受入れ

社会福祉関係の大学や専門学校、看護学校等から実習生を受け入れ、将来の地域福祉を担う学生等に対し、社会福祉協議会の業務について実習指導を行った。

ア 実習受入れ状況

内 容	受入数
社会福祉相談援助実習	3人
社会福祉相談援助基礎実習	8人
医療・介護実習	2人
児童福祉実習	7人
実習生徒職場体験研修(高校生)	1人
生徒職場体験研修(やるベンチャー)	6人
産業現場実習	3人

3 公益事業

(1) おもちゃの図書館事業

発達の遅れが心配な子どもたちが、たくさんのおもちゃと豊かな遊びを通じて言語等の発達や社会性が育まれるよう支援した。

ア おもちゃの図書館「あひる」

- ・開設場所 高崎市総合福祉センター1階
- ・開館日 毎週水・金曜日及び第1～4火曜日

イ 利用状況

	30年度		元年度	
	児 童	保護者等	児童	保護者等
利用者人数	716人	654人	359人	345人
開館日数	130日		104日	

ウ 発達相談事業および諸行事(あひる)

	発達相談		季節の制作	諸行事
	回数	組数		
30年度	9回	22組	・こいのぼり・母の日 ・父の日 ・七夕飾り	・夏まつり ・運動会 ・クリスマス会
元年度	7回	13組	・敬老の日 ・節分 ・おひなさま など	

(2) 福祉会館事業(指定管理)

福祉センター2館と福祉会館2カ所の指定管理を市から受け、施設の有効利用に努めた。

利用状況

施設名	30年度		元年度	
	開館日数	利用者人数	開館日数	利用者人数
倉渕福祉センター	307日	52,077人	316日	54,098人
箕郷福祉会館	292日	6,621人	290日	6,358人
群馬福祉会館	293日	40,676人	290日	39,196人
吉井福祉センター	292日	19,759人	291日	17,838人

(3) 配食サービス事業

ひとり暮らし高齢者等を対象に配食サービスを提供し、健康保持及び安否確認を行った。

実施状況

	箕 郷
提 供 回 数	141回
提 供 食 数	3,505食(内補助なし789食)
実 人 数	43人(内補助なし 11人)

※令和元年度をもって事業廃止。

(4) 高齢者あんしんセンターの運営(受託事業)

高崎市にある日常生活圏域46ヶ所のうち、北・東・西地区を担当し、地域住民の保健福祉の向上及び福祉の増進を目的に、地域住民の心身の健康保持及び生活の安定のための支援を包括的に行った。

ア 総合相談支援業務

地域における関係者とのネットワークを構築するとともに、積極的に地域に出向き、相談を受け、適切な保健・医療・福祉サービス関係機関や制度利用につなげる支援を行った。

項 目		30年度	元年度
相談件数合計(延べ)		2,060 件	2,595 件
相談方法	電話	1,337 件	1,826 件
	来所	384 件	393 件
	訪問	322 件	321 件
	その他	17 件	55 件
主に認知症に係る相談(延べ)	65 歳以上	46 人	29 人
	65 歳未満	1 人	1 人

イ 権利擁護業務

地域の住民や民生委員、介護支援専門員などの支援だけでは十分に問題解決ができない、適切なサービス等につながる方法が見つからない等の困難な状態にある高齢者が、地域において安心して尊厳ある生活を行うことができるように支援した。

延べ件数

項 目		30年度	元年度
権利擁護に関する相談		40 件	49 件
相談内容	成年後見	13 件	10 件
	措置の支援	6 件	7 件
	地域福祉権利擁護	7 件	6 件
	高齢者虐待	4 件	19 件
	消費者被害	10 件	7 件

ウ 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

高齢者が住み慣れた地域で暮らすことができるよう、介護支援専門員、主治医、地域の関係機関等多職種の機関が連携をし、個々の高齢者の状況や変化に応じて、包括的かつ継続的なケアマネジメントが実現できるように後方支援を行った。

	ケアマネ個別 相談件数	支援事業 (研修会等)実施
30年度	651件	9回
元年度	651件	2件

エ 地域ケア会議の推進

介護支援専門員、地域関係者、介護サービス事業者、保健医療関係者等の他職種が参加し、多角的視点から検討を行い課題解決に向けて地域ケア会議を開催した。

	地域ケア会議
30年度	9件
元年度	2件

オ 認知症施策の推進

認知症の人に対し、状態に応じた適切なサービスが提供されるように、認知症専門医療機関や介護サービス従事者等、地域において認知症の人を支援する関係機関との連携を図った。また、地域住民が認知症を正しく理解し、認知症の人やその家族が、住み慣れた地域で安心して生活できるよう啓発活動を行なった。

	認知症サポーター 養成講座	認知症についての 講話	認知症カフェ
30年度	4回	3回	6回
元年度	1回	7回	8回

カ 在宅医療・介護連携の推進

在宅医療に関する相談について、在宅医療・介護連携拠点へ情報を提供し、連携を図る。また、市と協働して在宅医療・介護サービスの提供体制の整備を推進した。

キ 生活支援サービスの体制整備

第2層協議体(北・東・西地区)では、日常生活圏域等における各地域の支え合いの創出に向けて協議体を設置した。社会資源やニーズに関する情報収集、生活支援の担い手の養成、資源・サービスの開発や関係者のネットワーク化に向けての検討会を月1回の定例会として開催した。

・開催状況

開催名	開催日	参加人数
第27回協議体会議	平成31. 4. 17	13人
第28回協議体会議	令和1. 5. 15	9人
第29回協議体会議	令和1. 6. 19	12人
第30回協議体会議	令和1. 7. 17	28人
第31回協議体会議	令和1. 8. 21	12人

第32回協議体会議	令和1. 9. 18	8人
第33回協議体会議	令和1. 10. 16	11人
第34回協議体会議	令和1. 11. 20	9人
第35回協議体会議	令和1. 12. 18	7人
第36回協議体会議	令和2. 1. 15	7人
第37回協議体会議	令和2. 2. 19	8人
第38回協議体会議	開催中止	—

ク 一般介護予防事業

筋力体操やストレッチ等の介護予防に取り組むことによって、自立の促進を図り、社会参加意欲を高めた。

	事業名	開催数	延べ参加人数	備考
30年度	元気はつらつ教室	全26回	326人	13回×2クール
元年度	元気はつらつ教室	全39回	472人	13回×3クール

ケ 地域が実施する活動への支援

サロン等の充実に向けて支援する中で、介護予防の普及啓発を行った。

	地区サロン
30年度	73回
元年度	70回

コ 地域の関係機関との連携

地域関係者や介護サービス事業者、保健医療関係者等との連携を図り、地域の高齢者の見守りや支援についての情報交換や高齢者本人の課題解決について話し合いを行った。

	地域連携会議	運営推進会議
30年度	6回	9回
元年度	6回	7回

サ 在宅福祉サービスに関する業務

高齢者が介護保険外の高齢者在宅サービスを適切に利用できるように支援した。

項目	30年度	元年度
高齢福祉サービス申請手続き代行	196件	153件

(5) 生活困窮者自立相談支援事業

市役所社会福祉課生活支援担当に、職員4名を出向させ、生活困窮者自立支援制度に基づく相談支援業務に従事した。

ア 実施状況

	新規相談件数	継続相談件数	プラン作成件数	就労者数	増収者数
30年度	610件	2,201件	132件	38人	9人
	計2,811件				
元年度	485件	2,195件	66件	27人	5人
	計2,680件				

イ 支援調整会議の開催(年12回)

相談員が作成した支援プランについて、ケースごとに専門機関の関係者を集めて協議検討した。

(6) 成年後見事業

成年後見制度の需要が高まっていることを受け、日常生活自立支援事業で培ってきた知識や専門性を活かし、公益的な取り組みとして成年後見の利用を促進することを目的として、法人として成年後見人を受任した。

ア 成年後見事業運営委員会の開催

- ・日 時 令和元年10月31日(木)
- ・会 場 高崎市総合福祉センター
- ・出席者数 6人(弁護士、医師、司法書士、社会福祉士、行政、社協)
- ・内 容 利用者案件について

イ 受任件数 1件(類型:後見)

4 収益事業

財源確保のため収益事業を行い、健全な経営と利益の効率化に努めた。

種 別	場 所	従業員数	備 考
売 店 経 営	斎場会館	3人	通年(友引の日以外)
	倉渕福祉センター	3人	通年
	六郷長寿センター内 片岡長寿センター内	-	通年(月～水曜日、金曜日)
自動販売機設置	2ヵ所5台	-	通年 中央公民館 1台 染料植物園 4台
自賠償保険取扱い	本所	-	通年 取扱件数 127件

※六郷・片岡長寿センター内売店については、セルフ楽間、箕郷福祉作業所、群馬福祉作業所、吉井障害者自立支援センターこはぎに業務委託し、職員と施設利用者が、飲料・菓子等の販売に加えて、施設オリジナル製品(花苗、手芸品等)も販売した。